



日本の伝統的サケ王冠
(冠頭と替栓)

■冠頭 天面に凸段がある。	■替栓 ツバが薄くて持ち難い。
------------------	--------------------

+ =

世界スタンダードの栓
(ウイスキーやコニャックの栓など)

■キャップシール シュリンク、アルミラミなど。	■替栓 回して開けることもできる。ツバが厚いので持ち易い。
----------------------------	----------------------------------

「伝統のサケ王冠」に「世界スタンダード」をプラス
JST (KS_JSTとKT_JST)

■ JST 冠頭 伝統のサケ王冠のイメージを維持。天面はフラット。従来より大きな口ゴ印刷が可能。	■ JST 替栓 サケ王冠のイメージを維持しながら、ツバが厚くて開けやすい。天面は凹段、刻印可能。
--	---



- 替栓のみJSTを使う場合を想定した「専用キャップシール」も近日発売予定。
- 常温充填品の外気温の変化による耐圧性能を考慮。
- 天付きキャップシール。天部が透明、スカート部が白の汎用デザイン。

伝統的な清酒・焼酎の価値をアピールするキャップ

- 「蔵元封緘」の刻印の汎用品を準備しています。
- 「びん爛殺菌対応」仕様も準備中です。



- **JST** とは：「サケびん口（一升塚口）規格」のための、清酒・焼酎のキャップです。「ツバ（トップ）」部分に厚みがあり、豪華で開けやすい中栓。外観と開封方法は伝統的なサケキャップ（冠頭・替栓）と同じ。
- **JST**：海外市場でサケ・ショーチューが脚光を浴びています。プレミアムクラスを求めるお客様は「PPキャップはチープだ、伝統的なサケキャップ（冠頭・替栓）がいい」という方が多いのです。しかし、日本の替栓は「ウイスキーやブランデーのTトップ栓にくらべて開けにくい」という声があります。
- **JST**：国内市場でも、高齢化とともに、あるいは、親指で替栓のツバを押し上げる習慣のない人には、替栓は開けやすくない栓となりつつあります。
- **JST**：●平和ヘッドは調整で打栓可能（機種によっては調整できない場合もあります。）●既存の化粧箱を利用できる。●中栓には刻印を入れることができます。

■ 冠従来の冠頭・替栓
天面の凸段や側面デザインなど、
やや煩雑な印象

■ **JST**
伝統のサケ王冠のイメージを維持し
ながら、天面はフラット、側面も斜
めのナーリングでスマートな印象。



- 「冠頭と替栓の組み合わせ」も可能になりました。
- 従来の組み合わせ王冠にあった側面の凹みがほとんどないのでスマートな外観です。



(参考) 当社の販売する「サケびん口」(一升壺口) 規格のびん



しかく1800

しかく720

セレブ720

セレブ300

セレブ1500

MS720

NGT720

一升壺